



昭和34年4月18日制定

# あさひ

学校便り11月号

平成28年10月29日

横浜市立旭小学校

## 子どもが「つながる」学習を

校長 加藤 和之

日一日と深まりゆく秋を感じる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。11月の声を聞き、陽が暮れるのがさらに早くなってきたように思います。

先日の「運動会」では、ご多用の中ご来校いただき、誠にありがとうございました。お陰様で、雲一つない秋晴れの下、子どもたちは練習の成果を十分に発揮することができました。「笑顔あふれるあさひっ子」の生き生きと躍動する姿が随所で見られたと思います。また、皆様からいただいたご声援が、子どもたちにとって大きな励みとなりました。真剣な表情で取り組む子どもの姿や、下級生に優しく声をかける高学年の子の様子などにふれ、思わず「グッ」ときてしまう場面がいくつもありました。改めて旭小の子どもたちの「良さ」を感じるとともに、日々子どもたちが成長する姿にふれられる幸せをかみしめる一日になりました。学校では、現在「たてわり」を取り入れたことの成果と課題を整理し、今後に生かせるようにしたいと考えています。今年度も「保護者アンケート」を実施しますので、是非ご意見、ご感想をお聞かせください。

さて、今回の「たてわり」を取り入れた「運動会」や、今月実施する「全校遠足」は、異学年同士の「つながり」を大切にしたい取組です。一方、子どもにとって最も身近なのが、「学級」の中での子ども同士の「つながり」です。この「つながり」は、「遊び」や「学習」を通して生まれるものです。では、どうしたら「学習」の中で「つながり」が生まれるのでしょうか。

自分自身の経験ですが、私が「話し合う」ことの楽しさを実感できたのは、3～4年生の時でした。担任の先生が、国語や社会、学級会など、様々な場面で話し合う活動を多く取り入れました。「〇〇さんの意見に賛成(反対)で、僕は～だと思えます。」「僕は～～という理由で、～と考えました。」というように、クラスみんなで話し合い、解決していく時間が楽しかったのを覚えています。時にはまさに「口角沫を飛ばす」議論をして、感情的になってしまうことさえありました。

学習内容について、先生から「こう言うものだ。」と教えられてただ覚えるよりも、私の経験からも言えるように、疑問に思ったことについて調べ、考えたことについて「話し合う」ことで、より深い理解ができると思います。また、自分の見方・考え方を何とか伝えたいと思うので、それを上手く表現するための方法を身に付けることにもつながります。その過程の中で、「話し合うこと」を通して友達の見方・考え方にふれることがとても大切だと思うのです。友達の見方・考え方に影響を受けて、その良いところを自分に取り入れたり、逆に自分の見方・考え方に自信をもったりすることができ、より確かな見方・考え方を身につけることができるからです。このように考えると、例えば「話し合い」のような、子ども同士が「つながる」学習に積極的に取り組んでいくことが大切だと思うのです。

私たちが授業を進める上で、まず大切にしなければならないのは、『基礎・基本』の確実な定着です。しかし、覚えたり、繰り返し練習したりするだけでは、なかなか「考える力」が身に付きません。問題をとらえ、様々な方法で調べながら考え、それを友達との「つながり」の中で解決していくという経験を積むことが大切だと思うのです。

平成32年から完全実施される、次の「学習指導要領」では、子ども自らが学ぶ「アクティブラーニング」に力を入れるということが発表され、話題になっています。しかし、これは新しいことに取り組むのではなく、このように子ども同士が「つながる」学習をより充実させていくことが大切だと思います。それを念頭に置きながら、旭小でも授業改善をしていきたいと考えています。

### 11月の取組目標



生活目標

進んで仕事をしよう

保健目標

安全な遊びや運動をしよう

清掃目標

昇降口、渡り廊下をきれいにしよう

給食目標

係や当番に進んで協力しよう